

防犯パトロール支援強化へ

若葉区特集 6月県議会一般質問

犯罪防止に大きく寄与



県議会議場の自席で再質問に立つ山中操県議

山中議員 地域住民が連携した防犯組織、防犯団体の活動が、犯罪の抑止力になっていることは事実であり、安全で安心な暮らしには、防犯団体の活動が重要だが、県は防犯団体に対し、どのような取り組みをしているのか。

環境生活部長 犯罪のない「安全で安心なまちづくり」を実現するためには、地域住民が連携して行う防犯パトロールなどの活動が不可欠だと認識しています。

県は、各地域の防犯団体の活動の継続とそのレベルアップを図るため①防犯活動をしている方々の事例発表や意見交換を行う「防犯サミット」の開催②市町村が自主防犯団体の防犯パトロール用の資機材を整備する際の経費に対する助成

その活動の中で、多くの防犯団体が警察や自治体に対し、情報の提供やパトロールのノウハウの教示などを求めていますので、県警では、犯罪発生情報の提供をはじめ、警察官との合同パトロール、警察と防犯パトロール隊との情報交換

後とも地域住民が不安に感じている犯罪に重点を置き、職務質問あるいは犯罪検挙等、警察にしかできない対策を確実に実施するとともに、関係機関と連携しながら、防犯団体への支援を強化していきたいと考えています。

若葉区でライフル射撃開催

「ゆめ半島千葉国体」(第六十五回国民体育大会)は、平成二十二年九月から十月にかけて千葉県で開催されます。正式競技三十七競技のうち、このほど千葉市若葉区内でライフル競技五種目が行われることが決まりました。八月末に開かれる日本体育協会国体委員会が正式決定されます。

国体が千葉県で開催されるのは、昭和四十

八年の若潮国体以来、三十七年ぶりのことです。

若葉区内の競技と会場は次のとおりです。

- ◇50mライフル(県総合スポーツセンター射撃場)
- ◇10mエア・ライフル、エア・ピストル(県立千葉大宮高校体育館)
- ◇ビーム・ライフル、ビーム・ピストル(県立泉高校体育館)

ゆめ半島千葉国体

2学期制34校で実施

山中議員 県立高校での2学期制の導入状況はどうか。

教育長 本県では、特色ある学校づくりの一環として、平成十一年度から2学期制の実施を可能にしました。

現在、全日制過程で二十六校、定時制、通信制課程で八校が実施しています。

来年度は新たに全日制の二校で導入される予定です。

山中議員 県立高校での2学期制の成果と課題は何か。

教育長 現在実施している学校からは、3学期制に比べて年間

で十日程度の授業時間が増え、丁寧な個別指導や繰り返し学習などができるとの報告を受けています。

また、週に学習する時間が少ない科目については、前期または後期に集中して授業を行い、単位認定している学校もあります。

一方、部活動の各種大会などの行事や大学の入試、就職等の手続きが3学期制を前提にしているため、定期試験の日程や回数などの調整が必要となる場合があります。



政策協議へ、スタッフと会場へ向う山中操県議(右)

安心と安全のまちづくり
やまなか
山中みさお
県議

6月県議会自民党代表質問

財源不足への懸念を表明

6月定例県議会で最大会派の自民党からは皆川輝夫議員(鎌ヶ谷市選出、四期目)が代表質問に登壇しました。

皆川議員は、財政問題を第一に取り上げ、本年度は当初予算段階でも百四十五億円もの財源不足のうえ、原油価格の高騰や幅広い物価の値上がりで日本経済に暗い影を落としているなかで、今後予定した税収さえ確保できないのではないかと懸念から厳しい財政運営を質しました。

また、羽田空港の国際化問題での知事の姿勢を厳しく質すとともに、成田新高速鉄道の開通に伴う北総鉄道との運賃格差問題や特急待ちによる利便性の低下などを指摘し、県当局の取り組みを求めました。